

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施策	新設する管きよは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きよ、(避難所からの汚水を受ける管きよ、緊急輸送道路下にある管きよ、河川や軌道を横断している管きよ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	総合地震対策計画(第2期)に基づき、令和2年度から6年度までの5年間で計画を実施します。 ・管きよの地震対策としては、耐震化のための実施設計及び工事を実施します。 ・マンホール浮上防止対策は主に産業道路、第2産業道路の実施設計を行います。							
期間	令和4年4月	～	令和5年3月					
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	63,055	10,622	52,433	0	0	0	0%
	工事費	16,018		16,018	0			0%
	原材料費	0			0			
	委託料	47,037	10,622	36,415	0			0%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	6,930			0			0%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0%	事業進捗度	選択
	上半期執行率			
進捗状況				

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況				
事業達成度	選択			
事業達成度C~Eの理由				

5 指標

指標					R4	R5	R6
指標名	汚水管渠更生工事(地震対策)	単位	m	目標値	78		
算出式・根拠				実績値			
指標名	マンホール浮上防止対策率	単位	%	目標値	56.4		
算出式・根拠	(浮上防止対策済マンホール数/対象マンホール数)×100			実績値			
指標名	重要な幹線等の耐震化率	単位	%	目標値	54.6		
算出式・根拠	(耐震化済延長/重要な幹線等の総延長)×100			実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	選択	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	選択
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	選択	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	選択

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
選択		選択